

## 【運営方針】

### □ブロック大会実行委員会

埼玉ブロック大会所沢大会の主管LOMとして、ところざわの魅力を発信できる機会を最大限に活かし、市内外問わず多くの方と連携して、埼玉県内に勢いが波及するような大会を行う。

### ○ブロック大会実行委員長

- ・埼玉ブロック大会所沢大会の統括管理
- ・埼玉ブロック協議会との連携・調整
- ・副主幹LOM連絡調整会議の設営

### ○ブロック大会副実行委員長

- ・埼玉ブロック協議会ブロック大会運営委員会との連携
- ・会場およびその周辺の管理 ※まちづくり室担当副理事長
- ・協賛金の募集管理 ※青少年室担当副理事長
- ・広報活動の管理 ※ひとづくり室担当副理事長
- ・大会式典のサポート管理 ※専務理事
- ・県内各地LOMとの連絡・調整 ※専務理事

### ○ブロック大会総括幹事

- ・ブロック大会実行委員長の補佐
- ・副実行委員長との連携・調整
- ・埼玉ブロック協議会との連携・調整
- ・副主幹LOM連絡調整会議の設営

### ○ブロック大会運営幹事

- ・ブロック大会に関わる懇親会の運営
- ・埼玉ブロック協議会の各種事業との連携
- ・副主幹LOM連絡調整会議の設営

### ○ブロック大会担当理事および担当委員会（まちづくり委員会）

- ・埼玉ブロック大会所沢大会の企画・運営

### ※担当事業

- ・6月例会 埼玉ブロック大会所沢大会の企画・運営
- ・さよならブロックの参加・企画
- ・ありがとう関東地区の参加・企画

□まちづくり室

○室長

※担当事業

- ・委員会運営のサポート
- ・担当議案の上程管理
- ・同室委員会の連携
- ・他室との連絡・調整

○まちづくり委員会

様々な団体や企業と地域連携型の事業を行うことで、より多くの方々にまちへの想いが波及し、ところざわを盛りあげる運動の輪を広げていく事業を行う。

※担当事業

- ・2月例会 スタートアップセレモニーの参加・運営
- ・11月第一例会 まちづくり例会の企画・運営

○拡大交流委員会

多くの方に青年会議所の魅力を伝え、会員拡大の意義を理解し率先して動くことで、積極的に新たな仲間を増やす好循環を生む事業を行う。

※担当事業

- ・会員拡大
- ・拡大事業の企画・実施
- ・12月第一例会 会員交流例会の企画・運営

※ブロック大会における役割

- ・駐車場確保及び交通整備計画の企画・運営

□青少年室

○室長

※担当事業

- ・委員会運営のサポート
- ・担当議案の上程管理
- ・同室委員会の連携
- ・他室との連絡・調整

○わんぱく相撲実行委員会

子ども達が目標を立て達成に向けて行動し、勝ち負けのある競技へ真剣に取り組むことや、その結果から得られる感情から多くの学びを得られる事業を行う。

※担当事業

- ・京都会議の参加・企画
- ・5月例会 わんぱく相撲大会および練習会の企画・運営
- ・わんぱく相撲埼玉ブロック地区大会及び全国大会の参加・企画
- ・送別会の企画・運営

※ブロック大会における役割

- ・協賛金の募集・管理

○青少年育成委員会

実体験を通して、主体的に考え判断し行動する力を育み、子ども達が生き抜くための力をつけられる事業を行う。

※担当事業

- ・3月例会の企画・運営
- ・青少年体験事業の企画・運営

※ブロック大会における役割

- ・協賛金の募集・管理

□ひとづくり室

○室長

※担当事業

- ・委員会運営のサポート
- ・担当議案の上程管理
- ・同室委員会の連携
- ・他室との連絡・調整

○ビジネス向上委員会

会員同士の交流や地域との繋がりから学び、各メンバーのビジネスの成長を通して、地域経済の活性化に繋がる事業を行う。

※担当事業

- ・4月例会 ビジネス向上例会の企画・運営
- ・10月例会 ビジネス向上例会の企画・運営
- ・12月第二例会 卒業式の開催・運営

※ブロック大会における役割

- ・県内各地LOMに向けた広報活動

○広報委員会

(公社)所沢青年会議所のイメージを作りあげる一人であるという意識を持ち、多くの方々に地域の魅力や私たちの活動・運動を効果的、継続的に発信し続けることで、私たちの応援者を増やす事業を行う。

※担当事業

- ・対内及び対外広報活動、HPの更新と管理、HPでの振り返り報告
- ・例会等各事業の記録と管理
- ・対外事業におけるHPでの事前告知
- ・1月第二例会 賀詞交歓会の企画・運営
- ・9月例会 兄弟JC締結40周年事業の企画・運営

※ブロック大会における役割

- ・対外向けの広報活動

## □事務局

### ○事務局長

事務局の運営責任者として組織の基盤を支え、円滑な運営に寄与する。また、財務面での適正な運用・管理を行う。職位はスタッフとする。

### ※担当事業

- ・総務委員会運営のサポート
- ・担当議案の上程管理
- ・他室との連絡・調整
- ・事務局の運営・管理
- ・監事会の開催・運営
- ・財務管理
- ・年間必需品の購入

### ○常務理事

専務理事の対内的な補佐として組織の基盤を支え、円滑な運営に寄与する。また、財務面での適正な運用・管理を行う。職位はスタッフとする。

### ※担当事業

- ・専務理事の補佐
- ・財務管理
- ・名刺の作成・配布

### ○総務委員会

(公社) 所沢青年会議所全体の根幹として各種会議の設営を行い、LOM全体の適正・的確かつ円滑な運営を行う。

### ※担当事業

- ・基本資料および会員必携の作成・配布
- ・理事会・スタッフ会議等の設営および各種議事録の作成、保管・管理
- ・1月第一例会 定期総会の開催・運営
- ・関東地区大会への参加・企画
- ・8月例会 臨時総会の開催・運営
- ・11月第二例会 臨時総会の開催・運営
- ・記念品の贈呈

### ※ブロック大会における役割

- ・大会式典の運営サポート

□委員長連携会議

○委員長連携会議議長

委員長による会議体を構成し、横の繋がりと結束を強化する。また、会議を通じて委員長としての担い・在り方等について伝え、資質を高めていく。

※担当事業

- ・委員長連携会議の管理・運営
- ・アカデミーの企画・運営
- ・全国大会の参加・企画

□副委員長連携会議

○副委員長連携会議議長

副委員長による会議体を構成し、横の繋がりと結束を強化する。また、会議を通じて委員会運営の担い・副委員長の在り方について伝え、次代の理事を担う人材の育成に努める。

※担当事業

- ・副委員長連携会議の管理・運営
- ・7月例会 サマコンの参加・運営

□未来会議

○未来会議議長

スタッフならびにスタッフ経験者による会議体を構成し、LOMの未来や諸問題に対する活発な意見交換を行う。また、次年度の理事長立候補有資格者に対するヒアリングを行う。

※担当事業

- ・未来会議の管理・運営

□じゃがいも倶楽部

○じゃがいもCAP

LOMメンバー同士ならびにOB会会員との交流の場として、じゃがいも倶楽部を担当する。

※担当事業

- ・じゃがいも倶楽部ゴルフコンペの企画・運営
- ・エリアレッドゴルフコンペへのメンバーの募集

□ファルマンズ

○ファルマンズCAP

LOMメンバー同士、ならびに近隣LOMとの交流の場として、部活動の運営、エリアレッドスポーツ交流会を担当する。

※担当事業

- ・ファルマンズの運営、管理
- ・練習会の開催

## 【運営方法】

### □総会

最高意志決定機関とする。定期総会は1月に開催し、臨時総会は8月、11月に開催する。

### □理事会

総会で議決した事項及び総会の議決を要しない事業を執行する為の意志決定機関とする。原則として毎月1回の開催とし、議事は原則としてロバート議事法に則り、「協議」「審議」を経て計画実行前の理事会において「確認」される。全ての理事は、理事会において可決された事業計画を(公社)所沢青年会議所の計画と認識し、目的を達成させる為にメンバーに対して理解が得られるよう努力する。

※参加対象者：理事長、直前理事長、実行委員長、副理事長、専務理事、総括幹事、運営幹事、室長、事務局長、常務理事、委員長(原則として担当議案上程時には副委員長のオブザーブ参加を必要とする。委員長欠席時は委員会メンバーを代理出席させる。)

### □正副理事長会議

組織運営上の諸問題や環境の変化に対し、必要に応じて開催される会議体。開催の可否は理事長が判断する。

※参加対象者：理事長、直前理事長、実行委員長、副理事長、専務理事

### □スタッフ会議

理事会の円滑な運営を推進する為に設置された調整機関。原則として毎月1回の開催とし、「協議」「協議」「確認」の手順を踏み、計画決定に向けて調整を行う。

※参加対象者：理事長、直前理事長、実行委員長、副理事長、専務理事  
総括幹事、運営幹事、室長、事務局長、常務理事、監事

### □監事会

事業の執行及び会計の状況を監査する。

※参加対象者：監事、専務理事、事務局長、常務理事、事業報告を持つ委員長

### □例会

例会は年間15回とする。出席率については80%以上を目標とし、例会開催時の出席者数向上を目指す。メンバー相互の親睦を目的とした懇親の場を設営する。

※例会後の懇親会における司会・受付は次回例会の担当委員会とする。

- ・議案作成時に懇親会担当委員会は必要な資料を用意すること。
- ・席次、集金、進行、支払い等、懇親会担当委員会が行う。
- ・メンバー用領収書の発行者は懇親会担当委員会とする。
- ・懇親会後のお見送りは例会担当委員会とする。
- ・事業報告で必要な受益者負担会計表、参加者リスト、領収書は懇親会担当委員会が速やかにまとめて、例会担当委員会に提出すること。

## □事業

目的を達成する為、その目的に合わせた対象者を選定し、実施するもの。

※該当する主な事業

- ・ 広報活動  
JC活動を周知する機会とし、随時HPやSNSを更新していく。OB通信の発行も行う。
- ・ アカデミー  
JC独自の考え方や習わしを考えていく機会とし、年間1回以上の開催とする。
- ・ 拡大事業  
メンバーの拡大に対するモチベーションを高める機会とする。  
2回目以降は適宜開催する。
- ・ じゃがいも倶楽部  
エリアレッド大会を含め、年3回の開催とする。LOM大会は春と秋に行い、現役とOB会会員との交流を図り、多くの参加者を募る。
- ・ ファルマンズ  
練習会やエリアレッドスポーツ交流会を通じて、LOMメンバー同士、ならびに近隣LOMとの交流を図り、多くの参加者を募る。

## □全体事業

目的を達成する為、LOMメンバーの協力をもって実施するもの。

※該当する主な全体事業

- ・ 会員拡大
- ・ わんぱく相撲練習会
- ・ 青少年体験事業
- ・ 送別会

## □特別事業

LOMの方向性、LOMとしての在り方を決定づける為、実施するもの。

※該当する主な特別事業

- ・ 委員長連携会議  
委員長連携会議は、原則として毎月1回開催する。
- ・ 副委員長連携会議
- ・ 未来会議  
未来会議は、2月～6月を期間とし、原則として毎月1回開催する。

※特別事業は流動体に変化する組織の状況に応じて実施内容を変更していく為、個別議案の作成は行わず、随時事業を構築して実施するものとする。

## □その他

上記に記載はないが特筆すべきもの。

- ・ 出向  
メンバーの自己研鑽の為、またその成果をLOMにフィードバックする為に積極的な参加を促進し、他LOMとの交流を広げる。
- ・ 会員必携  
2025年度も引き続き電子必携とし、アプリはSMARTアドレス帳を使用する。